



あ わ た ま さ こ
栗田昌子 議員

Masako Awata



12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

Q.トイレ洋式化の推進を A. 優先度の高い課題として検討

まちづくりには、思い切った施策が必要である。その観点から、女性用洋式トイレの増設、弱者の視点に立った施設整備、大災害発生時の避難所対策について質問する。

Q 迫る南海トラフ巨大地震に対する備えには、「スフィア基準」を研究すべきではないか。

A **総務部長** 避難所のスフィア基準は、内閣府の「避難所運営ガイドライン」で、参考にすべき基準としている。

町の地域防災計画では、内閣府の指針を踏まえ、要配慮者にも配慮した施設・設備の整備に努めるとしていることから、スフィア基準についても勘案する。防災・減災対策とともに、スフィア基準も研究し、避難所の施設・設備の整備を進める。

Q バリアフリーやユニバーサルデザインの観点から、公共施設をチェックしているか。改善したところはあるか。

A **総務部長** 建築年が古い施設は、必要に応じて設備等の改修をしている。役場庁舎の和式トイレへの手すりの設置、1階カウンタール上の案内板のカラー表示、多機能トイレのLGBTに対応した案内表示の見直し、多言語に対応したデジタルサイネージの設置を行なった。

Q 社会教育センターの女性トイレの洋式化を急ぐ必要があるのでは。産業祭では、女性用トイレは長蛇の列だった。

A **教育委員会事務局長** 社会教育センターのトイレを洋式化することとは、早急に検討すべき課題であると認識している。しかし、トイレの洋式化は

給水管や配水管の改修も加えた大規模な工事になる。洋式化は優先度の高い課題として検討する。

Q 大腸がんが増えてくる。オストメイト使用者数は。対応したトイレの設置は。

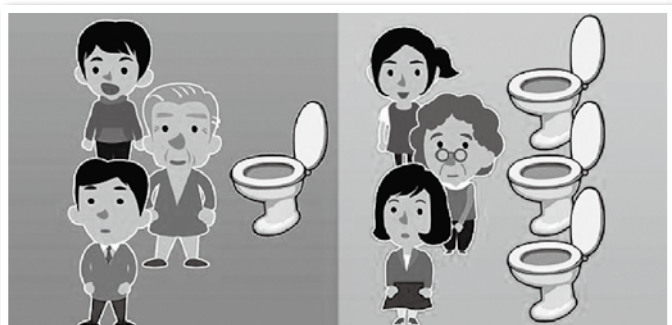
A **生活福祉部長** オストメイト使用者数は、21名。各施設に障害者に必要な機能を有したトイレ設置も検討する。

Q 備蓄している簡易トイレの数と購入予定数は。

A **総務部長** 組み立て式仮設トイレが3台、災害用マンホールトイレが10台、簡易トイレが20台。各小学校区自主防災会に組み立て式仮設トイレを各1台、計3台。トイレ数は内閣府の基準を45基下回っている。計画的に購入する。

Q 避難所のスペースも大きな問題では。せつかく生き延びたのに避難所のせいでは、命を落とすことのないように。

A **総務部長** 避難所の質の向上に取り組む。避難所宿泊訓練等の体験・検証を通して、整備に反映させる。



▲女性のトイレは男性の3倍必要